

県内で活躍中の防犯団体の方々を紹介します。



こども安全見守り隊



今回は、峡東地区で御活躍されている「こども安全見守り隊」を御紹介します。こども安全見守り隊は、平成18年6月に笛吹市石和町の富士見地区にある富士見料理飲食店組合の組合員を中心に結成され、県内でも珍しい地元警察署の公認を受けている自主防犯ボランティア団体です。結成のきっかけは、隊長である田中義照さんのひらめきだそうです。田中さんは、子どもが巻き込まれる事件が増加する中で「防犯に貢献できることはないか」と考えていたところ、組合の旅行で立ち寄ったサービスエリアで防犯ステッカーを付けた車を見かけ、組合員に「私たちもあんな活動をしないか」と提案

し、賛同を受けて結成に至りました。

構成員は、現在17名で毎朝児童生徒の登校時間に合わせて通学路に立ち、危険と思われる交差点で交通指導に当たったり、スピードの出ている車に対し注意喚起を行うだけでなく、通学路のグリーンベルト新設に向け、市に要請活動を行うなど、子供たちの安全を第一に考えた見守り活動を行っています。また、平成21年には、山梨県警察から青色防犯パトロールの実施団体に認定され、青色回転灯と防犯ステッカーを取り付けた自家用車でパトロールをするなど、その防犯活動の幅を広げています。

そんな活動が地域住民にも浸透し、地元小学校PTAで組織する安全ふれあい隊が結成されるなど、地域の自主防犯意識の向上にも繋がり、昨年の平成28年10月には、安全・安心なまちづくり表彰を受賞しました。隊長の田中さんは、10年以上継続してきた自主防犯活動について、「このような活動は地域の人だからこそできることだと思う。ボランティアで大切なのは、できることを無理せずやること。今後もできる範囲で防犯に協力できれば」と話してくれました。

見守り活動に同行させていただいたときには、地域住民から「いつもありがとうございます」と声を掛けられ、登校する児童からは「おはようございます」と元気なあいさつをされるなど、こども安全見守り隊の認知度は高く、信頼を集めていると感じました。

